

第42回 福岡県地方史研究協議大会

研究発表

地域の歴史とまちづくり 2

わたしたちの暮らす地域には様々な歴史遺産や伝統文化があります。本大会では、これらの魅力を活かしたまちづくりへの取り組みや、新しい郷土史の楽しみ方についての研究発表を行います。

発表内容

「古代焼き物の里 - 築上町船迫窯跡の保存整備 - 」
高尾栄市氏(築上町教育委員会)

「福岡遊学の旅 - ふるさと歴史散歩の魅力 - 」
竹川克幸氏(福岡地方史研究会会員)

「あなたの町はどんな町 - 御当地検定の課題 - 」
樋口一成氏 (久留米郷土研究会会長)

詳しくは裏面をご覧ください。

大会への参加は**無料**です。(事前申込み不要)

期 日 平成20年6月28日(土) 13:00～16:30

(12:30～受付開始)

会 場 福岡県立図書館 地下1階 レクチャールーム

(福岡市東区箱崎1-41-12 地下鉄箱崎宮前駅より 徒歩3分)

主 催 福岡県教育委員会

共 催 福岡県地方史研究連絡協議会(福史連)

発表内容紹介

【豊前】 古代焼き物の里 - 築上町船迫窯跡の保存整備 -

高尾 栄市 氏 (築上町教育委員会)

平成6年に圃場整備工事に伴い発掘調査を開始し、巨大工房建物跡や数々の窯跡の発見。そして国史跡指定を経て、史跡整備事業完了まで10年間。遺跡の価値を考古学、自然環境、生涯学習などから見だし、史跡を整備し活用していくには、遺跡を正しく理解することと将来に遺跡を伝える保存管理の技術、そして多くの人を楽しめる遊び心が必要です。

それはとても難しいことですが、遺跡が現代の私たちに問いかけているのかもしれない。

【筑前】 福岡遊学の旅 - ふるさと歴史散歩の魅力 -

竹川 克幸 氏 (福岡地方史研究会)

昨今、地域の歴史遺産や伝統文化を活用した観光、(歴史探訪・散策、史跡巡り、バスツアー、ウォーキングなど)やまちづくりが県内各地でもさかんです。そこで地域の歴史を広域的に見聞し、深く知る手段として「歴史散歩」の有効性に着目し、社会的に広く活用できる方法や活動事例(県民ふるさと文化講座や長崎街道筑前六宿巡り、筑豊飯塚観光案内人など)を紹介します。また物見遊山的な行楽要素も含め、旅行・街歩き感覚でも楽しめる「歴史散歩」を通じて、ふるさとの歴史、伝統文化が次世代へと受け継がれ、地域の魅力が再発見できるのではないのでしょうか。

【筑後】 あなたの町はどんな町 - 御当地検定の課題 -

樋口 一成 氏 (久留米郷土研究会)

一時期盛んであった御当地検定ブームも下火になってきた観があります。しかし、クイズを解く感覚で楽しみながら地域の歴史や文化を学ぶことは大変有意義です。また、検定試験を行いガイド認定、講師登録など本格的な取組みをしている京都等の先進地は依然として人気が高く、郷土学習の舞台は着実に進化しています。

検定テキスト「久留米ものしり事典」の編集を通じて、郷土研究を専門とする私達が、内外の市民に多様な地域の特性をどのように紹介したらよいか「あなたの町はどんな町」と問われ続けた経緯と受験者の声を紹介します。

同時開催

第3回地方史フェア(福史連主催)

6月28日 福史連加盟団体のパネル展示と刊行物の販売を行います。(当日のみ)

ミニ展示「福史連加盟郷土史研究会の会報」

6月1日～6月29日
福岡県立図書館3階郷土資料室前

お問合せ

福岡県立図書館 郷土資料課
福岡市東区箱崎1丁目41-12
TEL 092-641-1126 (直通)
FAX 092-641-1127 (代表)



公共交通機関をご利用の上ご来館ください。